

2025 年 9 月 7 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

陰嚢内腫瘍の臨床的検討

2. 研究責任者

海南病院 泌尿器科 窪田裕樹

3. 研究の概要

陰嚢内に発生する腫瘍はきわめてまれであり、最も代表的な精巣腫瘍の発生率が、人口 10 万人あたり 1・2 人とされています。その他にも、精巣上体腫瘍や軟部肉腫、リンパ腫などの発生が報告されていますが、これらはさらにまれな疾患であって診断や治療の方法が確立されておらず、どのように早期発見・早期治療に繋げていくのかは重要な課題です。

当院では、年間に数例の精巣腫瘍を経験するほか、年間 1 例以下の頻度で精巣上体腫瘍や軟部肉腫を経験しています。本研究では、陰嚢内腫瘍で病理検査によって悪性と診断された症例を対象とし、臨床データを後方視的に評価し、診断・治療の実際、予後、経過観察の方法を検討することで、適切な治療方法を明らかにします。

陰嚢内腫瘍について診断や治療に苦慮する現状ですが、診療データから腫瘍の特徴や臨床症状、診断方法などを検討することで今後の治療に役立てることが可能と考えます。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

陰嚢内に発生した腫瘍で、病理検査によって悪性と診断された患者さん

②使用する試料等

残余検体：血液・画像検査結果

カルテ情報：手術成績、治療歴 治療内容

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 泌尿器科 窪田 裕樹

電話：0567-65-2511（代表）